第７回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

◆開催日時：平成２８年１０月２５日（火）　１８：３０～

◆開催場所：登別市役所２階　第２委員会室

◆出席部会員：部会長　　長部　正之

　　　　　　副部会長　谷﨑　博美

　　　　　　部会員　　荒川　昌伸

　　　　　　　　　　　草野　義彦（協働推進庁内委員会）【都市整備部次長】

　　　　　　　　　　　南　　三明（協働推進庁内委員会）

【都市整備部都市政策Ｇ総括主幹】

◆欠席部会員：　　　　　山下　克彦

中川　信市

　　　　　　　　　　　西尾　拓也

◆事務局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

　　　　　　　　　　　有馬　亮太【市民生活部市民協働グループ主任】

◆議題：「健康」に関する取り組みについて

**≪事務局≫**

事務局から今日の会議の流れを簡単に説明させていただきます。

10月11日に開催しました、２回目の部会長・副部会長会議の概要について、説明をさせていただきたいと思います。

部会長・副部会長会議では、９月末までに各部会が議論してきた健康に関する取り組みについての説明がありました。資料として配布している内容の説明をします。まず各部会ともこの資料の内容に沿って説明がありました。

ぬくもり部会は、特定健診の受診率を上げる取り組みを行うこととし、まずは市民自治推進委員会の委員の皆さんを対象に、アンケート調査を実施することとしています。ぬくもり部会に関しましては、鷲別地区の集団健診に申し込んだのですが、満杯で断られたことがあったので、受診率を上げる取り組みをするのであれば、もう少し受診者の余裕があれば良いとの話が、ほかの委員からありました。

防災・環境部会につきましては、ウォーキングをしながら、自然環境に触れるような取り組みを実施します。防災・環境部会に関しましては、子供の数も減少しておりますので、老人中心のラジオ体操をポイント制として、全市一斉に実施すれば効果が上がるのではないかという話が部会長からありました。

産業躍動部会は、地場産食材を利用した料理教室の実施と温泉の効能について調査を実施する予定です。

都市調和部会につきましては、以前作成したきらり健康ふれあいウォーキングマップのリニューアルに取り組むということで、部会長から説明していただきました。また都市調和部会に関しては、ほかに公園の整備や健康遊具の設置のお話、コンクリートストレスのお話から、木材の使用を市営住宅に反映するという話もしていただきました。

育み部会は、公園の利用実態調査について取り組む予定です。育み部会に関しましては、公園の調査方法に関して質問があり、すべての公園ではなく、いくつかに絞って調査するということであり、地域と一緒に公園のあり方を考えていきたいという話がありました。また、公園使用のルール自体を変えることができないかとの話がほかの委員からありました。

最後にまちづくり部会ですが、健康に関する講演会の開催と、広報紙への健康コラムの掲載について、取り組む予定です。具体的にはロコモティブシンドローム「運動器症候群」といいまして、こちらに関する講演を行う予定です。ロコモティブシンドロームというのは、運動器の障害による移動機能が低下した状態のことをいいます。運動器とは例えば骨や筋肉、末梢神経など体を支えたり動かしたりする役割の器官の総称です。

各部会の取り組みの方向性の説明のあと、事務局から市の平成29年度予算に関する説明を行いました。ぬくもり部会と育み部会を除く４部会で、資料に記載のとおり予算要求の事務を進めております。

なお、防災・環境部会のバス借り上げの使用料につきましては、市バス対応の可能性がありますので、予算措置がなくなる可能性があるというお話もしております。

また、都市調和部会のマップの印刷製本費、こちらにつきましては、９地区分を前回同様と想定しておりますが、以前作成した際には９地区を３カ年で作成しておりましたので、今回につきましても単年度で９地区分の予算措置について変更になる可能性があります。

その他、部会間の連携に関する話が協議されました。防災・環境部会のウォーキングと産業躍動部会の料理教室について、ウォーキングをしてから料理をする、ウォーキングをして山菜を採って料理をしてみてはとの話があり、部会間の調整は事務局で行うこととなりました。

また、公園の関係については、育み部会と都市調和部会で重なりますが、取り組みは育み部会をメインとし、内容が固まったら、都市調和部会に報告することとなりました。

仲川委員長からは第３期基本計画の実施計画について、各部会で練ってもらう時間があっても良いのではないかとのお話もありました。健康に関する協議というのがある程度落ち着きましたら、実施計画について、内容の確認等を各部会で行うことを検討することになるかと思っております。

次回の部会長・副部会長会議については、市民自治推進委員会の取り組みに関する市の新年度予算措置などの報告を案件としまして、年明けに開催する予定となりました。

先日の部会長・副部会長会議の概要は、今までお話させていただいたとおりです。以降は部会長に引き継ぎしたいと思いますが、部会長と副部会長も会議に出席されておりましたので、内容等について追加説明がありましたらよろしくお願いします。

**≪事務局≫**

私のから少し補足をさせていただきます。まず、ぬくもり部会の特定健診の受診率の関係で、鷲別の方に申し込みをしたが一杯で申し込めなかったという話があり、国民健康保険に確認したところ、やはり鷲別の方は受診率が多く、申し込めないことがあるという話で、通常は１回しか行っていないところ、２回に回数を増やして対応しているところです。ただ、実態に応じて２回で足りない場合は３回にするなど回数を増やす取り組みも考えているので、その状況に応じて柔軟に対応したいという話がありました。

また、部会長からは、木造の関係の意見書を市民自治推進委員会としての意見書という形で出すような話を部会長・副部会長会議の中でしましたが、仲川委員長からは、市民自治推進委員会としてではなく１度都市調和部会に戻して、再度都市調和部会で話し合ってほしいという話になりました。

事務局は意見書の内容を確認していなかったので、部会長に連絡したところ、委員長に確認してほしいとの話でしたので、委員長に確認後、内容については写しを提供しても良いとのことでしたので確認させていただきました。

実際、部会長・副部会長会議の中では、市民生活部次長が持ち帰り責任を持って調整するような話になっていたと思います。市民生活部次長と都市整備部次長で調整していただきましたので説明をお願いします。

**≪庁内委員≫**

結論から言いますと、意見交換の場がほしいということで、建築住宅グループと話をしてそういう場を設けることになりました。千代の台団地については、現地の土壌調査等を行っており、11月一杯くらいには調査結果が出るのではないかとのことです。基本設計も進めていまして、工期が来年の３月一杯とのことです。その中で、どのような建物で何戸にしようかなどを決めていくので、それまでの間に意見交換の場を設けたいなと考えています。

**≪事務局≫**

今すぐというより、その結果が出ないと戸数なども決まらない。それからでも間に合うということでよろしいですか。

**≪庁内委員≫**

それからでも間に合います。実施設計については予算要望しており、平成29年度に入ってから進めることになると思います。工事についてですが、建物を建てる時期については平成30年度から平成31年度の２カ年くらいというようなスケジュールで進めたいと考えているところです。予算要望を国にしていて、どう配分されるかわからないので、その後のスケジュールがはっきり決められない状況ですが、実施設計までには何となくスケジュールが見えているというところです。実施設計に入る前の基本設計中に意見交換を行いたいと考えております。

**≪事務局≫**

土壌調査の結果が出ないと、何戸くらい建てられるというのがはっきりしないということなのですね。

**≪庁内委員≫**

土壌調査の結果が出なければ、どういう建物を建てられるか見えてこないです。

**≪事務局≫**

結果が出た段階で早めにこの部会の定例会もしくは別に開催して、そのとき建築担当の職員に来てもらい、意見交換の場を設けられたら良いのかなと思いますがいかがですか。

**≪部会長≫**

今入居されている方が何人出て、何棟くらい建てたいという希望みたいなものは当然あるのですよね。

**≪庁内委員≫**

基本的な考え方というのはあります。今住んでいる方の戸数があり、さらに考えているのは別の団地の分も若干持ってきてそこに建てる。元の敷地だけではなく、道営住宅の土地も購入しているので合わせて使うということです。若干今までよりも戸数的には多くしたいなと思っています。

**≪部会員≫**

多くする方向なのですか。

**≪庁内委員≫**

多くするというのは、ほかのところを廃止してということになるので、トータルは少なくなります。

千代の台分と片倉の平屋の西団地分です。

**≪部会長≫**

住んでいる団地から移ってくださいとお願いするときに、住所のお知らせなどの代行や引越しの費用を少し持ちますなどということはあるのですか。

**≪庁内委員≫**

現地建て替えの場合はあります。例えば千代の台に住んでいる人に、他に一度移ってもらい、もう一度千代の台に入るとなった場合、引っ越し代は保障されます。

　幌別西団地の取り扱いは廃止しますということなのでそこが問題です。

**≪庁内委員≫**

　幌別西団地から千代の台に引っ越すとなると、学校の関係や職場の関係もあるので、千代の台に引っ越したくないとなると市内幌別地区の違う団地に入るしかないですね。

**≪部会員≫**

　その前に確認したいのですが、このような意見を出して聞いてもらうのは良いのですが、この間少し話した件ですが、市営アパートの規定があり、コンクリートで70年の耐用年数、木造だったら35年、そもそも木造で建てるという事がだめなのですよね。建てて良いというようなことはありますか。

**≪庁内委員≫**

　旭団地は建っています。

**≪部会員≫**

　別に良いのですね。でも３階４階は建てられないということですね。

**≪副部会長≫**

　そういう話までできるのかできないのかということです。できないのなら、もう1回どこまでどうするのか話をしないと無駄になってしまいます。「ここまではできます」や「ここまではできません」という段取りをきちんとしてもらい、話し合いをした方が良いのではないですか。

**≪部会長≫**

　この前事務局と木造の耐用年限は35年で２サイクル入れ替わっても入居率が高かったとお話させていただきました。逆に鉄筋コンクリートは木造よりお金がかからないと言われていますが、耐用年限は70年もあってもその間にメンテナンスがあり空室も増えてきて、加えて建物全体に対してのメンテナンスもしなくてはならないことを考えたら、木造はコストが高いと言われているけれど、本当に高いのかなと思います。

コストを再計算してみるなど登別独自でどちらが得かという考え方をした方が良いのではないですか。鉄筋コンクリートで部屋数はたくさんできたが、30年以上経過し古くなり、新しい入居者が激減するなど、そういうことを数字で抑える必要があると思います。

ある団地は建築して何年目くらいから入居率が下がったということなどは統計が取れると思うので、統計に従い計算をしてきちんと数字で出してみた方が良いのではないでしょうか。

**≪庁内委員≫**

　70年後を見越したときの建設プラス修繕やそのランニングコストとイニシアチブコストと合わせた戸数を70年間かかった費用を戸数で割れば出せますかね。

**≪部会長≫**

　入居していた戸数と期間です。

**≪庁内委員≫**

　そうですね。木造で70年間に２回建てるのと鉄筋コンクリートで１回建てるのとでは、どちらの方が費用がかかるのかということもあります。

**≪部会長≫**

　解体費用もあります。

**≪庁内委員≫**

　解体は鉄筋コンクリートのほうが高いと思います。

**≪部会員≫**

　LCA（ライフサイクルアセスメント）でライフサイクルコストを全部出してみると結構面白い話になるかもしれません。

**≪庁内委員≫**

　エレベーターを使うとランニングコストもかかりますね。ただ桜木団地はそんなに新しくもない団地だと思いますが空室がなく大変人気があります。

　千代の台も人気があると思います。新生団地や若山団地も空室が無いです。

**≪事務局≫**

新生団地は古いし、エレベーターもついていないですよね。

**≪部会員≫**

古くても場所が良いと入るのですね。

**≪事務局≫**

土壌調査の結果が出たときに再度考え方を話し合えればと思います。

部会長から部会長・副部会長会議の関係で、何か質問などありましたらお願いします。

**≪副部会長≫**

マップを冊子にすると言ったら、皆さん良い反応でした。

**≪部会員≫**

昔マップを作ったとき１年から１年半かかり結構大変でした。

マップを訂正するなどして１つの冊子にしたら良いなと思います。

**≪副部会長≫**

公告を入れるなどして協賛をつけた方が良いですね。

**≪部会長≫**

部会長・副部会長のときには、QRコードを入れて登録できるなどが好評でした。

**≪部会員≫**

当時作成に携わったときの写真は全部私が持っています。デジタルではなくネガであります。16年前の物なので現在の写真に改訂したいです。版がデザインワークに残っているうちに、改訂したいなと思っています。

**≪事務局≫**

これはどこでつくった物ですか。

**≪部会員≫**

これは商工会議所と市民で作りました。

**≪副部会長≫**

商工会議所を抱き込んでやったらどうですか。

**≪部会員≫**

コースがたくさん出ています。このコースで色分けし、そのあと健康に特化し自分達で新たなコースづくりをしてまとめました。これは登別地区です。

**≪庁内委員≫**

４地区くらいあるのですか。

**≪事務局≫**

９地区より４地区くらいの方が良いです。

**≪部会員≫**

私は、冊子で９冊ではなくて１冊にして、家庭できちんと保存しておける物にした方が良いのではないかと思います。

**≪副部会長≫**

地区毎の方が良いのではないのですか。２地区くらい。

**≪事務局≫**

前は９地区を１年で３地区ずつ作成し３年かけて作成しました。

一度に作成するのは厳しいので分けてやっていたということです。

**≪庁内委員≫**

マップとコースがあれば良いのかなと思います。

**≪事務局≫**

　都市調和部会として、どのような形でマップを作っていきますか。

　既存のウォーキングマップを利用して先ずは幌別地区を見直すという事で良いですか。

**≪部会長≫**

良いのではないですか。

**≪事務局≫**

どのようなスケジュールで進めていくのかということもありますね。

**≪部会員≫**

予算は印刷代しかないですが、本当にきちんと直すのであれば、データを集めて構成するという作業があるので、プロに任せないと非常に難しいのではないかと思うので、予算が足りないと思います。

**≪部会長≫**

また市営住宅の話に戻りますが、リノベーションや入居をポイント化することについては本当に考えられているのでしょうか。

**≪庁内委員≫**

前にもお話ししましたが、畳をフローリングする等のオプションを付けることは行っております。

**≪部会長≫**

お金をかけるということではなく、入居する工夫をしたら良いのではないでしょうか。

例えば団地１棟に入居者がいなくなったら、公営住宅から切り離して営利を目的とした建物にして、解体費用が掛かるよりはそのようにするのも良いのかなと思います。

**≪庁内委員≫**

耐用年数の関係もありますので詳しい事はわかりません。

**≪事務局≫**

幌別地区で実施していくということが固まったので、どのように行っていくかということを皆さん宿題で考えてきていただいて、進め方等を話できればよいかなと考えます。

**≪部会長≫**

大まかなスケジュールが欲しいですね。

先日、４０分くらいのテレビ番組で、木造十数階建て等の特集をやっており、録画したので皆さんで観ませんか。

次回皆さんで視聴したいと思います。

【次回日程について】

平成２８年１１月１６日又は１８日　１８時３０分から

↓

平成２８年１１月２５日（金）１８時３０分からに変更